

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107 - 183	高等学校	外国語	論理・表現II	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論II 231-902	be English Logic and Expression II Clear New Edition		

## 1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、確かな学力、多文化共生時代を生きるために求められる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、それを具現化するため、次の3点を編修の基本方針としました。

### ① 「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語で表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- ・英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのインプット（リスニングとリーディング）によって得られた知識を、アウトプット（スピーキングとライティング）につなげる。

→語彙力、文法力、慣用表現力を育てるためのコーナーをレッスン内に配置しました。

**Forms** 英語で発信するために必要な英語の基本形（文法）を理解する。

**F-GUIDE** 個々の文法の意味や働きを把握する。

**Expressions** 論理的な構成や展開の工夫を学習する。

**Vocabulary** テーマに関する語彙を増やす。

**CHECK** 言語活動の準備として文法項目の知識を確認する。

### ② 「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号，第5号）

- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを判断する力を育てる。
- ・英語での会話、事物の描写、論理展開などを学習して、自己表現力・対話力を育てる。

→現象を分析し因果関係などを判断する力や、論理的に思考する力を育てるためのコーナーを用意しました。

**Introduction** (pp.6 ~ 11) 論理的に話したり、書いたりすることの意味や重要性、その基礎づくりのための文法、ライティングの基本などを解説。

**Paragraph Writing** (pp. 106 ~ 117) 論理的につながりのある文章を書くためのパラグラフ構成の学習。

**Tips for Logical Communication** (各課 1 ページ目) 各課のテーマに関して書いたり話したりする際の、論理的観点からのアドバイス。

→各レッスンでは課ごとのテーマで自分のことを表現するためのさまざまなTASKを設けました。話す（やり取り・発表）活動、書く活動をバランスよく、また有機的に組み合わせました。

**TASK**  話す（やり取り）  話す（発表）  書く  協同学習（クラスメイトと協同して英語力をつける場）

→各ゾーンのテーマにそったトピックで、叙述文、説得文、説明文、要約文といった、さまざまな論理展開で書く活動を行

います。発展としてスピーチ・プレゼン・ディベート・ディスカッションの活動も行います。

**Extra Activities①～⑤** (p.28～29, 46～47, 64～65, 86～87, 104～105)

スクリプトを書いてみよう！ (pp.26～27)

スピーチをしてみよう！ (pp.44～45)

プレゼンをしてみよう！ (pp.62～63)

ディベートをしてみよう！ (pp.82～85)

ディスカッションをしてみよう！ (pp.102～103)

### ③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号，第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協同を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

#### →学習到達目標を提示することにより，主体的に学習に取り組む態度を育みます。

レッスンごとの学習到達目標を TARGET/Self-Check, Zone ごとの学習到達目標を後見返しに Study Flow として提示し，英語で表現する意欲と主体性をもたせます。学習の振り返りと自己評価も行えます。

#### →主体的・対話的に学習に取り組む活動を，各課のゴールに置きました。

**Active Learning**

(各課4ページ目) 各課のゴールとなる4ページ目を **Active Learning** と題し，与えられたテーマについて主体的に考えたり調べたりしたうえで，自己発信を行う場としました。



**Active Learning** では，**SHARE** というグループで情報交換を行うステップを毎回踏むことで，協同を通して新たな可能性を創り出す共創力が育めるように設計しました。



自ら主体的に考えたり調べたりしたことを，英文にまとめて書く力を養います。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
各 レ ッ ス ン 1 頁 目 ～ 4 頁 目	LESSON 1～15	高校生にとって身近な「趣味」「学習・課外活動」「ソーシャルメディア」などのほか、「幸福・ストレス」「多様性」「持続可能性」など，幅広い多様なテーマや場面を取り上げました。 (第1号 幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。)	各レッスンの： 1ページ目 Start-Up 4ページ目 Active Learning
	LESSON 5, 9	勤労に係る「支援活動」「幸福」をテーマに取り上げました。 (第2号 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自立の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。)	35～38, 57～60ページ
	LESSON 6, 13, 14	社会に積極的に参画する心を育むため，「地域活性」「人口問題」「多様性と包括性」などをテーマに取り上げました。 (第3号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。)	39～42, 89～92, 93～96ページ
	LESSON 4	高校生の日常に不可欠なSNSについてその特性や影響を考えさせるため，「メディア・リテラシー」などのテーマを取り上げて，思考したり，表現したりする活動を設けました。	31～34ページ

	LESSON 7, 10, 11, 12,	言語や異文化に対する理解や関心が深まるように、「言語学習」「国々のデータ比較」「先進技術」「日本の文化」など、自国や他国の文化や習慣、技術、諸問題に関するテーマを取り上げ、思考したり表現したりする活動を設けました。  (第5号 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。)	49~52, 67~70, 71~74, 77~80ページ
	LESSON 15	環境問題に関心が深まるように、サステナブルな取り組みやサーキュラー・エコノミーに関するテーマを取り上げ、思考したり表現したりする活動を設けました。  (第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。)	97~100ページ
1 頁目	Forms	当該レッスンで扱う学習項目の解説をし、その記述を生徒にとって分かりやすいものにする事で、主体的に予習と復習をする学習習慣を身に付けることができるように工夫しました。(第2号)	各レッスンの1ページ目
2 ~ 3 頁目	・CHECK ・TASK	各3領域の技能を用いて表現をする活動を有機的に組み合わせて、言語の統合的な理解を促す構成としました。(第1号)	各レッスンの2~3ページ目
4 頁目	・SHARE ・WRITE	SHAREとWRITEでは、社会形成に参画する喜びを与えるように工夫しました。(第3号)	各レッスンの4ページ目
1 頁 コラム	・Zone REVIEW (全5回) ・EXTENSION①②	言語について、幅広い知識と教養を身に付ける扶助となるコラムを設けました。(第1号)  「未来のイノベーション」や「日本のポップカルチャー」など、先進技術や自国の文化について、発信活動につなげる資料を提示しました。(第5号)	・25, 43, 61, 81, 101ページ ・75, 76ページ
実践的な活動の場	・スクリプトを書いてみよう! ・スピーチをしてみよう! ・プレゼンをしてみよう! ・ディベートをしてみよう! ・ディスカッションをしてみよう! ・Extra Activities ①~⑤, ・Paragraph Writing	・相手の気持ちを配慮しつつ、意図を円滑に伝達するための知識を提供しました。(第1号)  ・社会人になって勤労に従事する際に有用な、伝達手法(ライティング・スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートなど)の知識を提供しました。(第2号)  ・103ページでは、「ジェンダーの平等」のテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めました。(第3号)  ・117ページでは、「地球温暖化」のテーマを取り上げ、そのことについて思考したり、表現したりする活動を含めました。(第4号)	26~27ページ(スクリプト・ライティング) 44~45ページ(スピーチ) 62~63ページ(プレゼン) 82~85ページ(ディベート) 102~103ページ(ディスカッション) 28~29ページ(EA①叙述文) 46~47ページ(EA②説得文) 64~65ページ(EA③グラフ説明) 86~87ページ(EA④要約文) 104~105ページ(EA⑤調査・分析) 106~117ページ(PW)
後見返し	Study Flow	生徒自身が目標を意識し、学習意欲を向上させることができるように、学習到達目標を一覧形式で表示した。(第2号)	後見返し

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ① 学習上の配慮

- ・ 題材や登場する人物などについては、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に留意しました。
- ・ 豊かな人間性、創造性の獲得に資するため、紙面全体を通じて美しく読みやすい書体や、ユニバーサルデザインに配慮した紙面、親しみやすいイラストを用いるように心がけました。
- ・ 各レッスンの Start-Up の会話やListening-TASK（内容確認のリスニング問題）、Interactionsの基本例文やVocabularyは、音声を二次元コードで提供し、学習者が自由に再生して学べるようにしました。

#### ② 題材の選定

- ・ 題材の内容は、学校生活、日常生活、メディア、支援活動、地域、言語学習、イノベーション、文化、芸術、多様性、社会問題など、さまざまな分野から選びました。
- ・ 性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努め、広いものの見方ができるように配慮しました。

#### ③ 円滑な導入

- ・ 論理の構成や展開を工夫して情報を伝えられるようになるための準備として、Introductionページを設けました。さまざまなテーマについて自分で考えて書き、ペアやグループで情報を共有します。

#### ④ 環境への配慮

- ・ 管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- ・ 植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107 - 183	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	論Ⅱ 231-902	be English Logic and Expression II Clear New Edition		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### (1) 高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

- 1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深め, これらを実際のコミュニケーションにおいて目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせるため, 各レッスン中に **Speaking (発音)**, **Vocabulary (語彙)**, **Expressions (表現, 言語の働き)**, **Forms・F-GUIDE (文法)** と要素ごとに解説と例を提示し, タスクの目的, 場面, 状況に応じて活用できるよう設計しました。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて外国語で情報や考えの要点や, 話し手や書き手の意図などを的確に理解して, 適切に表現したり伝え合ったりする力を養うため, 各レッスン中に **Tips for Logical Communication** などの解説を用意しました。
- 3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 相手に配慮しながら主体的, 自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うため, **Extra Activities** という論理的に考えアウトプットする際の留意点を解説するページを用意しました。

### (2) 論理・表現Ⅱの目標を実現するための工夫

英語学習の特質をふまえ, **話すこと [やり取り]**, **話すこと [発表]**, **書くこと** の3つの領域別に設定された目標の実現のため, ゾーンごととレッスンごとにテーマを設け, そのテーマで自分のことを表現するさまざまなタスクを配置し, 英語の表現力を育成できるよう設計しました。

学習目標をゾーンごととレッスンごとに明示し, 適切な分量のタスクを学びやすい順序で置くことで, 英語で表現する意欲と主体性を常に学習者に持たせられるよう留意しました。

各レッスンは, 「①導入→②定着→③発展」の3ステップ(4頁)の構成です。レッスンのゴールとなる「③発展」のステップでは, 3領域を総合的に用いて, 情報を理解したり自分自身の考えを発信したりする力を養うことに主眼をおきました。

各ゾーン, 各レッスンのテーマには, 「趣味」「学校生活」といった身近なものから, 「イノベーション」「社会問題」といった高校生の興味関心に訴える深いものまで幅広い話題を選び, 積極的にコミュニケーションを図る態度を育成できるよう配慮しました。

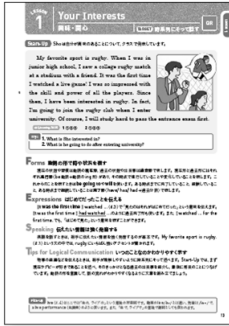
レッスン以外のページとしては, 以下などを用意しました。

- ・ **Introduction** (pp.6 ~ 11) : 中学の学習内容の復習と高校への橋渡しを目的としたページ。
- ・ **Extra Activities** : ゾーンごとに, テーマにそったトピックでさまざまな論理展開で書く活動を行うページ。
- ・ **自己発信活動のページ** (スクリプト・ライティングをしてみよう! /スピーチをしてみよう! ほか) : ゾーンごとに, 事実や意見などを多様な観点から考察し, 論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす活動を行うページ。

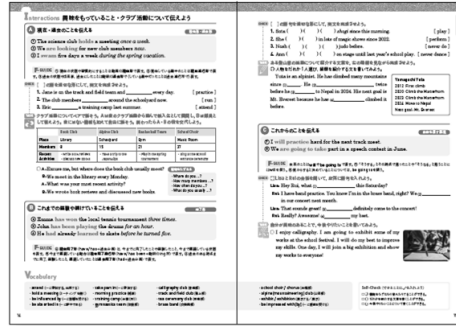
### (3) 各レッスンの構成

各レッスンの「①導入→②定着→③発展」の3ステップ(4頁)構成の詳細は, 以下の通りです。ステップごとに学習上の目的を明示し, 教師にも学習者にも学習の過程が一目で分かるようレイアウトを工夫しました。

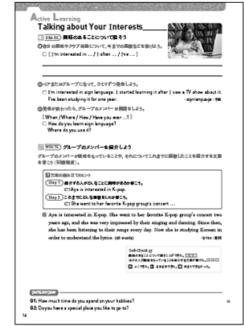
## ①導入



## ②定着



## ③発展



① **導入（授業への導入）** さまざまなテーマの文章（Start-Up）を題材にして、英語の形や語順、表現、発音・アクセントを意識しながら話す練習をします。

**Start-Up** レッスンごとに設定したテーマで、高校生が自分の考えや経験などを述べた文章の例を掲載しています。レッスンで学習する文法と、テーマに関して自分の考えや経験を述べる際に役立つ機能表現を用いています。Try! で内容の確認をします。

**Forms** 英語で発信するために必要な英語の基本形（文法）を理解します。

**Expressions** コミュニケーションに必要な機能表現を理解します。

**Speaking** 話す内容が伝わるように、発音の練習を行います。

**Tips for Logical Communication** 論理的なコミュニケーションのためのヒントを学習します。

② **定着（Interactions）** レッソンのテーマで、学習する文法項目を使ってやり取りを行います。さまざまなTASK（英語で話す・書く・聞く・ペアワーク・協同学習）を通して知識と技能を身に付けます。

③ **発展（Active Learning）** レッソンのテーマにそって、与えられたトピックに関する発信活動を行います。「話す」活動や「書く」活動を積極的に行うことで、論理的に考え、判断し、表現する力をつけます。

**SHARE** 情報や考え、気持ちなどを、グループやクラスメイトに話して情報交換します。

**WRITE** 意見や主張などを、まとまった文章で書いて伝えます。

### ●各ゾーンの活動 Extra Activities → 自己発信活動

- **自己発信活動**：各ゾーンのまとめとして、「スピーチをしてみよう!」「プレゼンをしてみよう!」などさまざまな種類の発信活動を行います。
- **Extra Activities**：各ゾーンのテーマに合わせたトピックについて、「叙述」「説得」「説明・分析」「要約」のパラグラフを書く活動に取り組みます。

### ●学習到達目標の提示

上記に加えて、レッスンごとの学習到達目標を Self-Check、ゾーンごとの学習到達目標を Study Flow として提示することで、学習者に英語で表現する意欲と主体性を持たせることに意を用いています。

- **TARGET**：各レッスン1ページ目のタイトル下に学習目標を提示。
- **Self-Check**：各レッスンの3、4ページ目に掲載。学習到達目標をチェック欄とともに提示。
- **Study Flow**：後見返しに掲載。1st ~ 5th Zone の5段階の学習到達目標をチェック欄とともに提示。

### ●レッスン以外のページ

● **前見返し**：英語による授業に活用できるよう「コミュニケーションにつながる英語表現」を整理して掲載しています。

● **1ページコラム**：

**EXTENSION**：レッスンで学習する内容の発展的情報を提供するページです。内容は「未来のイノベーションを考えよう」「日本のポップカルチャーを紹介しよう」です。

**Zone REVIEW**：各ゾーンで学習した文法事項をわかりやすく整理して、その要点を解説した復習用のページです。

**Paragraph Writing**：英語のパラグラフ構成の基本を学習します。

## 2. 対照表

図書構成・内容		学習指導要領の内容							該当箇所	配当時間
教材名	言語材料	(1) 英語の特徴や きまりに 関する事項	(2) 情報を整理し ながら考え たり、英語 で表現し たり、伝え 合ったり することに 関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項						
				①言語活動			②言語の働き			
				ア 話すこと [やり取り]	イ 話すこと [発表]	ウ 書くこと	ア 使用場面	イ 働き		
<b>LESSON 1</b> <b>Your Interests</b>	・現在形・過去形 ・完了形 ・未来を表す表現	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校, 家庭	(オ) 質問する	pp.13-16	2
<b>LESSON 2</b> <b>Interacting with People</b>	・不定詞(名詞用法) ・動名詞 ・名詞節	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 家庭 (イ) 動画 (ウ) 台本	(オ) 誘う	pp.17-20	2
<b>LESSON 3</b> <b>Explaining School Life</b>	・助動詞 (can/may/must/should ・推量を表す助動詞 ・助動詞+ have+過去分 詞)	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校 (イ) イン ターネット	(オ) 交渉す る (ウ) 説明す る	pp.21-24	2
スクリプトを書いてみよう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)		(ウ) 説明す る・描写す	pp.26-27	2
<b>Extra Activities ①</b> 話の展開を考えて叙述文を書こう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)		(ウ) 説明す る・描写す	pp.28-29	1
<b>LESSON 4</b> <b>Media Literacy</b>	・形容詞 ・分詞の形容詞用法 ・分詞形容詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) SNS	(エ) 意見を 言う	pp.31-34	2
<b>LESSON 5</b> <b>Helping Others</b>	・名詞+形容詞句・前置 詞句 ・名詞+分詞句 ・名詞+不定詞句	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 地域	(ウ) 理由を 述べる (オ) 助言を 求める	pp.35-38	2
<b>LESSON 6</b> <b>Introducing Your Town</b>	・関係代名詞 ・関係副詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 地域 (ウ) 旅行	(エ) 提案す る	pp.39-42	2
スピーチをしてみよう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)		(エ) 意見を 言う	pp.44-45	2
<b>Extra Activities ②</b> 論理的に文をつないで説得力のある文章を書こう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)			pp.46-47	1
<b>LESSON 7</b> <b>Learning Languages</b>	・副詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(イ) 言語	(エ) 理由を考 える	pp.49-52	2
<b>LESSON 8</b> <b>Appreciating Art</b>	・不定詞(副詞用法) ・不定詞を使う表現 ・分詞構文	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) 芸術	(オ) 質問する	pp.53-56	2
<b>LESSON 9</b> <b>Happiness and Stress</b>	・副詞節 ・譲歩 ・so that / so ~ that	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 学 校, 地域	(エ) アドバイ スをする	pp.57-60	2
プレゼンをしてみよう!		(ア), (イ)	ア, イ			(イ)	(ウ) データ・ グラフ	(エ) 主張す る・提案す	pp.62-63	2
<b>Extra Activities ③</b> グラフの説明をしよう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)	(ウ) データ・ グラフ	(ウ) 説明す る・描写す	pp.64-65	1

<b>LESSON 10</b> <b>Comparing Countries</b>	・原級 ・比較級 ・最上級・最上級相当の表現	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (ウ) データ・ グラフ	(オ) 注意を ひく	pp.67-70	2
<b>LESSON 11</b> <b>Innovation and Imagination</b>	・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・wish / It's time / without	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 地域	(エ) 仮定する	pp.71-74	2
<b>LESSON 12</b> <b>Introducing Japan</b>	・that節内の動詞 ・seem/think・時制の一致 ・話法	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (ウ) 食事	(エ) 勧める	pp.77-80	2
<b>ディベートをしてみよう!</b>		(ア), (イ)	ア, イ	(イ)				(エ) 主張する (オ) 説得する	pp.82-85	2
<b>Extra Activities ④</b> 文章や発言の要約をしよう!		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)		(ウ) 要約する	pp.86-87	1
<b>LESSON 13</b> <b>Population Issues</b>	・「ある」「いる」の表現 ・「なる」「するようになる」の表現 ・「かかる」の表現	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 人口 問題 (ウ) データ・ グラフ	(イ) 共感する	pp.89-92	2
<b>LESSON 14</b> <b>Diversity and Inclusion</b>	・使役動詞 ・動詞+名詞+分詞 ・知覚動詞	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア), (イ)	(ア)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 人権 問題	(エ) 提案する・ 反論する	pp.93-96	2
<b>LESSON 15</b> <b>Sustainability in Action</b>	・無生物主語 ・enable / prevent ・日本語と違う表し方 (受動態を使う表現)	ア(ア), (イ)	ア, イ	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア), (イ)	(ア) 地域 (イ) 持続可 能性	(エ) アイデアを出し合う	pp.97-100	2
<b>ディスカッションをしてみよう!</b>		(ア), (イ)	ア, イ	(イ)				(エ) 賛成する・ 反対する・ 主張する (オ) 質問する	pp.102-103	2
<b>Extra Activities ⑤</b> 調査・分析をして文章にまとめ、発表しよう!		ア(ア), (イ)	ア, イ		(イ)	(イ)	(ウ) データ・ グラフ	(ウ) 説明する (エ) 提案する	pp.104-105	1
<b>Paragraph Writing</b>		ア(ア), (イ)	ア, イ			(イ)		(ウ) 説明する・ 描写する (エ) 主張する	pp.106-117	3
<b>計</b>										48